



2024年2月14日

各 位

会社名 株式会社スカラ  
代表者名 取締役 代表執行役社長 柳野 憲克  
(コード番号 4845 東証プライム)  
問合せ先 経理部長 上代 大輔  
(TEL 03-6418-3960)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2023年8月14日に公表しました2024年6月期(2023年7月1日~2024年6月30日)の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2024年6月期連結業績予想数値の修正(2023年7月1日~2024年6月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 12,800	百万円 650	百万円 620	百万円 430	百万円 420	円 銭 24.24
今回発表予想(B)	未定	未定※	未定※	未定※	未定※	未定※
増減額(B-A)	-	-	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2023年6月期)	12,644	259	233	△213	△218	△12.62

※「未定」の金額については、以下「修正の理由」の文中でご説明します。

#### 2. 修正の理由

当社グループは、2023年8月14日に公表いたしました中期経営計画「2024-2026」における「人の成長プラットフォームの構築」の基本方針に基づいて、事業を進めております。

特に、当社グループはこれまで、DX事業を最も重要な基盤とし、様々な企業や官公庁等のニーズに対して徹底的に耳を傾け、「柔軟かつ高い技術力」でニーズを解決するジャストフィットなサービスをクラウドで提供することで実績・信頼・経験をストックとして積み上げ、大手企業が新たな領域に展開したいというニーズに対して、パートナー企業として共創の形でエンタープライズ案件に繋げる形で、業績を伸ばしてまいりました。

この当社グループのビジネスモデルを基盤に、社会課題から当社グループで取り組むシステム開発案件に繋げるプラットフォーム構造の構築を進める中、金融業界などの一部業界における情勢変化もあり、DX事業におけるシステム開発売上が大きく減少いたしました。また、DX事業以外についても堅調ではあるものの、全体としては当初計画に比べて進捗が遅れております。

このような状況下において、徹底的なコスト見直しと更なる事業の整理を行うとともに、DX 事業の回復に大きく注力する必要があると判断しました。そのため、2024 年 1 月より大規模な事業構造改革に着手しており、一時的に多額の費用計上が発生することから、2024 年 6 月期通期の業績予想は未定といたします。

#### 2024 年 6 月期通期業績への影響および 2025 年 6 月期通期業績に及ぼす効果

具体的には、以下のコスト削減を考えております。

- 事務所費用、システム利用料および専門家報酬などの固定費削減
- 不採算事業の整理とそれに紐づく固定費削減

これらにより、固定費削減に係る一時費用および事業整理に係る手数料等が発生し、営業利益及び税引前利益においては、最大で 10 億円から 15 億円のコスト増が発生します。

また、事業整理により、のれんおよび固定資産の減損、株式売却損、その他の資産評価損が発生し、当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益に、会計上の損失として最大で 20 億円から 30 億円が発生します。

しかしながら、これらの事業構造改革の効果として、2025 年 6 月期通期業績においては、事業整理による効果として年間約 2 億円、固定費削減効果として年間約 6 億円の営業利益増加を計画しております。

さらに今後は、当社グループの重要基盤であり、これまでの成長を牽引し営業利益率が非常に高かった DX 事業を改めて強化し、収益力を高めてまいります。

※2024 年 3 月末日までに、コスト削減と事業整理の進捗について改めてご報告いたします。

#### 3. 株主還元について

当社は株主に対する利益還元を重要な経営方針として位置付け、安定的に配当を実施していくことを基本方針としております。過去の投資利益の株主還元を含め、2024 年 6 月期の配当については、従来予想を維持する方針です。

以 上